

令和3年度決算について

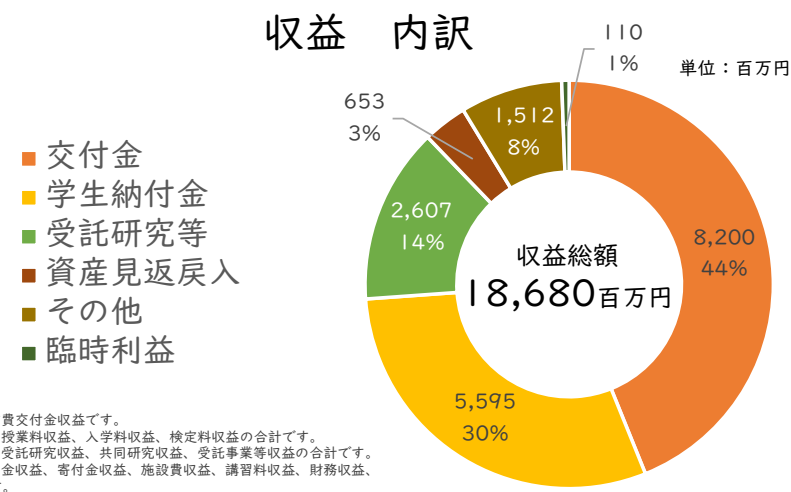
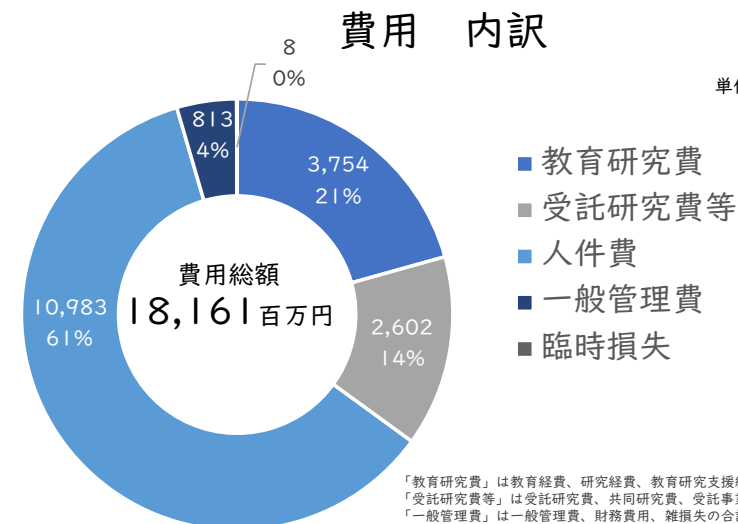
1. 令和3年度 損益概要
2. 当期総利益 変動要因分析（前年度との比較）
3. 外部資金の状況（科研費含む受入額推移）
4. その他の財務諸表概要
5. トピックス

1. 令和3年度 損益概要

単位：百万円

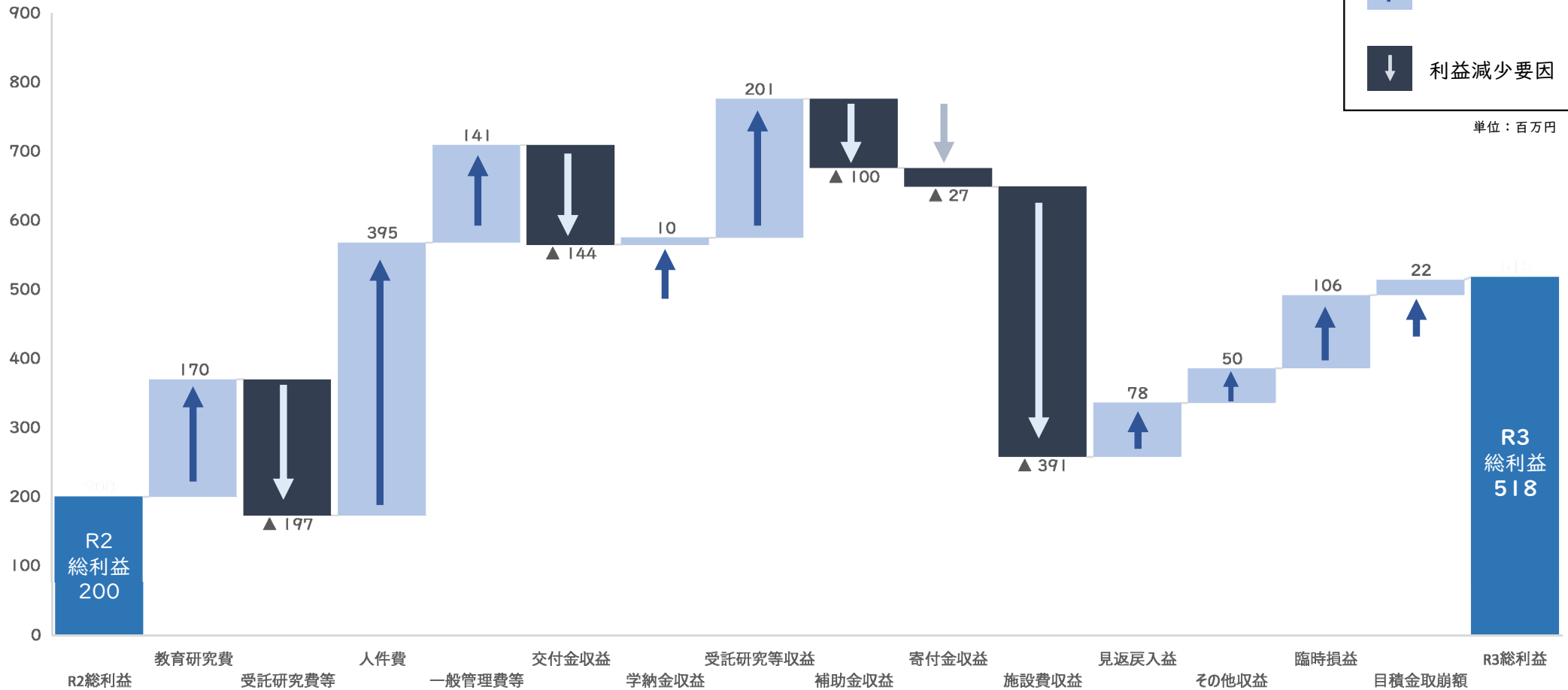
(百万円)	令和2年度	令和3年度	増減
経常費用	18,665	18,153	△512
経常収益	18,857	18,534	△322
経常利益	191	380	188
純利益	187	482	295
目的積立金取崩額	13	35	22
当期総利益	200	518	317
目的積立金申請予定額 (括弧内は円単位表記)	200 (200,895,708円)	506 (506,195,394円)	305

単位未満切り捨て表記のため端数が一致しない場合があります。



2. 当期総利益 変動要因分析（前年度との比較）

単位：百万円



3. 外部資金の状況（科研費含む受入額推移）

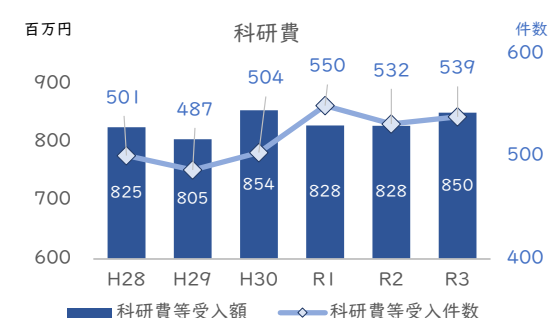
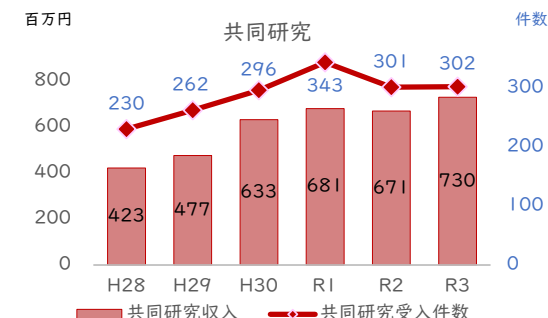
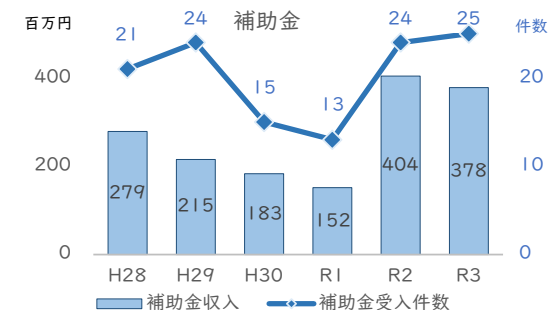
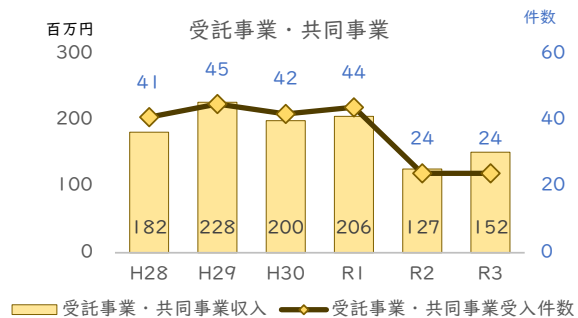
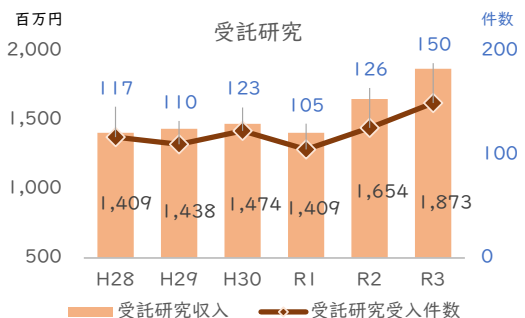
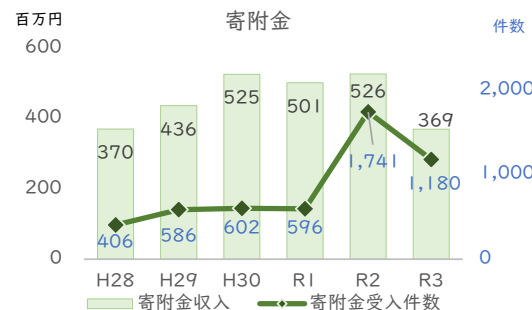
外部資金合計 受入額・受入件数推移



過去6年分の各種外部資金について、受入額（百万円単位）を棒グラフ左軸（黒字）で、受入件数を折れ線グラフ右軸（青字）で、過去からの推移として示しています。

寄附金と補助金では若干減収となりましたが、それ以外の資金ではすべて増収となっています。特に受託研究と共同研究ではともに過去最高の受入額となりました。外部資金合計でも過去最高の受入額となっています。

寄附金では、R2年度よりコロナ禍の中で学生を支援するための緊急学生支援寄附金を呼びかけ始めたことにより、R2年度から受入の件数が1千件を超える規模となっています。



4. その他の財務諸表概要 ①貸借対照表

貸借対照表 概要

単位：百万円

借方	R2	R3	増減	貸方	R2	R3	増減
有形固定資産	104,757	104,010	△746	固定負債	14,046	13,804	△242
無形固定資産	232	338	105	流動負債	6,180	5,458	△722
投資、その他の資産	1,208	1,110	△98	負債の部合計	20,227	19,262	△964
固定資産計	106,199	105,459	△739	資本金	97,453	97,453	—
流動資産	5,120	4,464	△656	資本剰余金	△7,138	△7,678	△540
資産の部合計	111,320	109,923	△1,396	利益剰余金	776	885	108
				純資産の部合計	91,092	109,923	△1,396

【資産の部】

✓有形固定資産 △746百万円

→目的積立金や施設整備費補助金などによる建物の増加+607百万円
→受託研究費や科研費を財源とした取得の増加、リース資産の除却の減少などにより工具器具備品+568百万円
→減価償却の進行による減少△1,865百万円 など

✓無形固定資産 +105百万円

→財務会計システム及び人事給与システムの更新などによるソフトウェア資産の増加+98百万円 など

✓投資その他の資産 △98百万円

→満期到来まで1年を切った投資有価証券（100百万円）を、流動性資産へ振り替えた事による減少 など

✓流動資産 △656百万円

→R2末の未払金払い出しによる△2,940百万円、R3末の未払金残高による+2,049百万円などによる普通預金の減少 △766百万円
→満期到来1年を切った投資有価証券を流動性資産へ振り替えたことによる増加 +100百万円 など

【負債の部】

✓固定負債 △242百万円

→償還期限1年未満のものを短期リース債務へ振り替えた事による長期リース債務の減少 △118百万円
→履行義務負債の定期償還による△154百万円 など

✓流動負債 △722百万円

→R2末は改修工事竣工払分に係る未払金が大きく増加していたことからの未払金反動減 △891百万円
→受託研究の獲得増加にともなう前受受託研究費 +140百万円
→履行期限まで1年を切った資産除去債務を流動負債へ振り替えた事による増加 +83百万円
→中期計画最終年度における精算のための収益化による運営費交付金債務の減少 △116百万円 など

【純資産の部】

✓資本剰余金 △540百万円

→施設費による固定資産の取得による増 +261百万円
→目的積立金による固定資産の取得による増 +324百万円
→改修工事に伴う出資財産（建物）の一部除却による減 △117百万円
→損益外減価償却による減 △914百万円
→損益外減損損失による減 △94百万円

✓利益剰余金 +108百万円

→予算執行に伴う目的積立金残高の減少 △208百万円
→当期末処分利益の増 +317百万円 など

4. その他の財務諸表概要 ②キャッシュフロー計算書

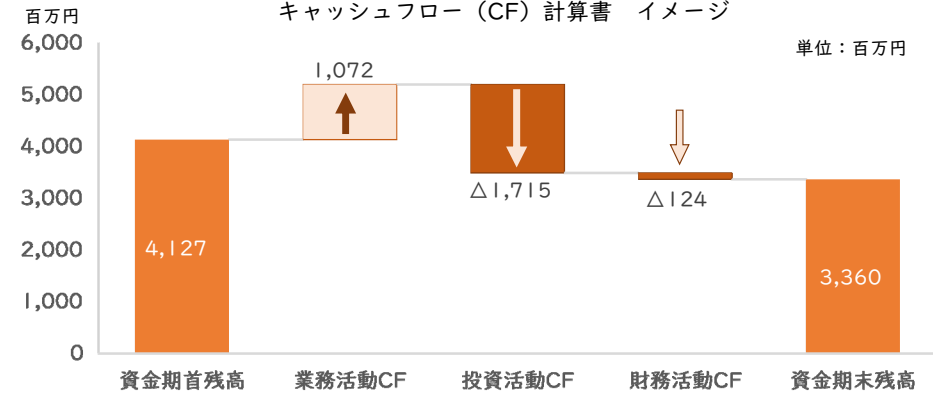
キャッシュフロー（CF）計算書 概要

単位：百万円

区分	R2	R3	増減
業務活動CF	1,255	1,072	△182 ※1
投資活動CF	125	△1,715	△1,840 ※2
財務活動CF	△127	△124	3
資金増加額	1,253	△766	△2,020
資金期首残高	2,874	4,127	1,253 ※3
資金期末残高	4,127	3,360	△766

キャッシュフロー（CF）計算書 イメージ

単位：百万円



主な増減要因

- ※1 【業務活動キャッシュ・フロー】 △182百万円
 ✓ 原材料、消費又はサービスの購入による支出 △270百万円（資金流出額の増加）
 ✓ 人件費支出 △272百万円（資金流出額の増加）
 →R2年度末に未払金計上されていた諸費用を、R3年度に払い出したことによる支出増加（キャッシュのマイナス）。
 ✓ 各種資金の入金額の増減 +292百万円
 →運営費交付金収入△120百万円、受託事業収入△75百万円、寄付金収入△156百万円、受託研究収入+473百万円 などによる差引合計で入金額増加（キャッシュのプラス）
- ※2 【投資活動キャッシュ・フロー】 △1,840百万円
 ✓ 有形固定資産の取得による支出 △289百万円（資金流出額の増加）
 →R2年度末に未払金計上されていた大規模改修工事竣工払い分をR3年度中に払い出したことによる支出（キャッシュアウトフロー）の増加
 ✓ 施設費による収入 △1,747百万円（入金額の減少）
 →R2年度は化学棟、工学基礎棟、排水浄化センターなど大規模改修工事のための施設整備費補助金交付額が多かったことからの反動減。
- ※3 【資金期首残高】
 ✓ 資金期首残高 +1,253百万円（普通預金残高の増加）
 →R2年度末に未払金（※）として保有していた現預金により、R3期首残高が増加。
 ※R2年度末は大規模改修工事の竣工払い分などのために未払金が増加していた（R1と比べて1,332百万円増えていた。）。

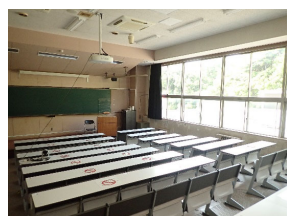
5. トピックス

✓ 都市科学部講義棟 改修工事竣工

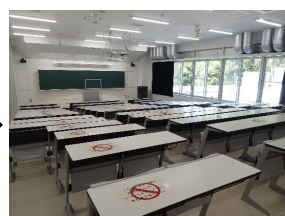
令和2年度補正予算で施設整備費補助金により予算措置されていた都市科学部講義棟（旧教育学部講義棟8号館）の改修工事が完了しました。



改修後の正面外観



改修前：203講義室



改修後：203講義室

✓ 自家発電装置（災害時対応システム）設置

自然災害等で停電が発生した際に備えて、大学としての機能維持に必要な発電設備を設置しました。令和3年度の「基盤的設備等整備分」として措置された運営費交付金を財源として取得しました。



災害対策本部用の発電機



井水飲用化設備用の発電機



主要電源設備管理システムのための発電機

✓ 用途廃止による減損（常盤台リカレント棟及び清里地区）

常盤台キャンパスのリカレント施設2棟について、管理部局である工学研究院代議員会にて用途廃止を決定しました。また山梨県北杜市清里にある野外教育実習施設について、1月開催の経営協議会において清里地区全体を用途廃止とすることを決めました。いずれの建物についても用途廃止による減損を認識し、資産価値を備忘価（1円）まで引き下げる減損損失を計上しています（損益外処理）。なおリカレント棟については、R3年度中に撤去工事まで完了し、除却済みです。清里地区の建物等の撤去工事は今後速やかに実施される見通しです。



野外教育実習施設（清里）

✓ COVID-19ワクチン大学拠点接種を実施

令和3年9月から10月にかけて、中央図書館を会場として、新型コロナウイルスワクチンの大学拠点接種を実施しました。およそ6,000人の方々に各2回、合計約12,000回のワクチン接種が行われました。本学は附属病院を有していないため、ワクチンの「打ち手」として、横浜市立大学より多くの医療従事者の方々に派遣していただきました。横浜市をはじめとした各自治体などからもワクチン接種対策費負担金などの支援をいただいています。



会場受付



接種会場



ワクチン接種を受ける梅原学長

✓ 入学歓迎式（リベンジ入学式）の開催、卒業式の挙行

令和3年11月14日（日）に、新横浜の日産スタジアムにて「入学歓迎式」を開催しました。令和2年度と、令和3年度と、2学年の学生（入学生）を招いて実施しました。また、令和4年3月24日（木）には、3年ぶりとなる卒業式・修了式を、パシフィコ横浜ノースを会場として、開催しました。

いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密を避けられるよう、それぞれ外部の広い会場を借りて開催いたしました。



日産スタジアムで行われた入学歓迎式、スタンド側に座る学生ら。



入学歓迎式で祝辞を読む梅原学長



パシフィコ横浜ノースにて行われた卒業式。学位記授与の様子。